

## 総務部

組織を円滑に運営するため、文書や法規の管理、広報、国会との調整、国立国会図書館の方針の企画立案、予算と執行の管理、庁舎や設備の管理、人事厚生の事務、行政・司法各部門の支部図書館との連絡調整、国際機関との協力等、幅広い業務を担います。

### Do から Act への橋渡し

#### 青山 寿敏 企画課評価係長



私が所属する企画課評価係は、国立国会図書館の活動（サービス・業務）を自己評価する「活動実績評価」の作成を担当しています。活動実績評価は、いわゆるPDCAサイクルのCに当たるものです。計画（Plan）の下で国立国会図書館が行った様々な活動（Do）について年度ごとに評価（Check）し、その結果を次の企画立案や活動の実施に役立てる（Act）ことを目的としています。自分が作成した文書によって国立国会図書館が1年間取り組んだことの評価が決まってしまうことには大きな責任を感じる一方で、やりがいも十分です。

そのような評価を客観的に行うためには、統計データの収集・管理も欠かせません。評価係では、国立国会図書館の各種サービスがどの程度利用されているかを原則として月単位で集計し、状況の把握に努めています。また、統計データでは測れない利用者の声を受け止めるために、利用者アンケートも毎年度実施しています。

以上の業務を行うに当たっては、統計分析についての理解も必要です。この点は、過去に国内留

学（派遣研修）制度を利用して外部機関で経済分析の手法を学んだ経験が大いに役立っています。

#### ■ 学生時代の専攻 分子生物学

Career	
H23.4	主題情報部科学技術・経済課 (H23.10 利用者サービス部科学技術・経済課に組織再編)
H23.12	東京電力福島原子力発電所事故調査委員会事務局職員を兼任
H26.4	調査及び立法考査局経済産業課 (H30.7 副主査)
H30.4	日本経済研究センターへ派遣研修
H31.4	調査及び立法考査局経済産業課 (副主査)
R3.4	総務部企画課 (副主査、R4.10 評価係長)

### 出向・人事交流

外部機関での経験により視野を広げ、国立国会図書館での業務に役立てることを目的として、国や地方公共団体等の諸機関と出向・人事交流を行っています。また、実務研修として、公共図書館との研修交流も行っています。

〈 主な出向先・実務研修員派遣先 〉

衆議院事務局 衆議院法制局 参議院法制局 会計検査院  
東京都立図書館 京都府立図書館 大阪府立図書館

## 海外留学

国立国会図書館では、調査部門・図書館部門から若干名の職員を海外の大学院に派遣しています。最近の留学先としては、シカゴ大学、アペリストウィス大学、ルクセンブルク大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、ニューヨーク大学等があります。



久古 聡美  
(外交防衛課主査)

令和元（2019）年7月からの約1年間、英国のキングス・カレッジ・ロンドンに留学し、戦争学を学びました。留学前は、調査及び立法考査局の外交防衛課で、核問題や自衛隊及び諸外国の軍隊の国外派遣の問題といった防衛・安全保障分野の調査を主に担当していました。業務を行う中で、国際的な視点からも問題を考える必要性を感じ、また、国際関係学の大きなテーマである戦争について研究の第一線にある国で学びたいと考えたことが、留学の動機となりました。

大学院では、世界における戦争の歴史から、非正規戦や対テロ戦争、人工知能（AI）を用いた未来の戦争まで、戦争をめぐる理論や実際について学びました。留学生活は、課題や試験で忙しく、授業でも、必ずしも解が一つではない国際関係の複雑な問題に対し、自分なりの考えを論理的に組み立てて提示することが求められ、試行錯誤した日々でした。同時に、国もバックグラウンドも異なる学生が集まる中で多様な考えに触れ、政策の現場でも活躍されている教授を交えた白熱したディスカッションに参加するなど、刺激的で貴重な経験でした。日本で調査員という立場から触れてきた問題に別の視点からも向き合い、多くの気づきを得て、視野を広げることができました。

帰国後、留学で得た知識や学びは、調査業務に取り組む際の土台としていきていることを実感しています。成長する機会をいただいたことに感謝し、この経験を積極的に業務にいかしていきます。

## 図書館及び関係機関との連携

国立国会図書館は、国際図書館連盟（IFLA）等の国際的な活動への参加等を通じて、海外の国立図書館や関係機関との交流や協力活動を行っています。

業務交流の場での通訳や国際会議でのプレゼン等、語学の堪能な職員が活躍する機会があります。

